

まちの未来を描こう

西条市が目指す将来の姿と、それを実現するための取り組みを記した「第2期西条市総合計画後期基本計画（第2期西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」（以下、総合計画）を3月に策定しました。最重要課題である「人口減少・少子高齢化」に、これからどう立ち向かっていくのか。キーワードは「みんなで実現」。総合計画に示す未来予想を基に、まちのこれからを考えていきます。

今月の表紙

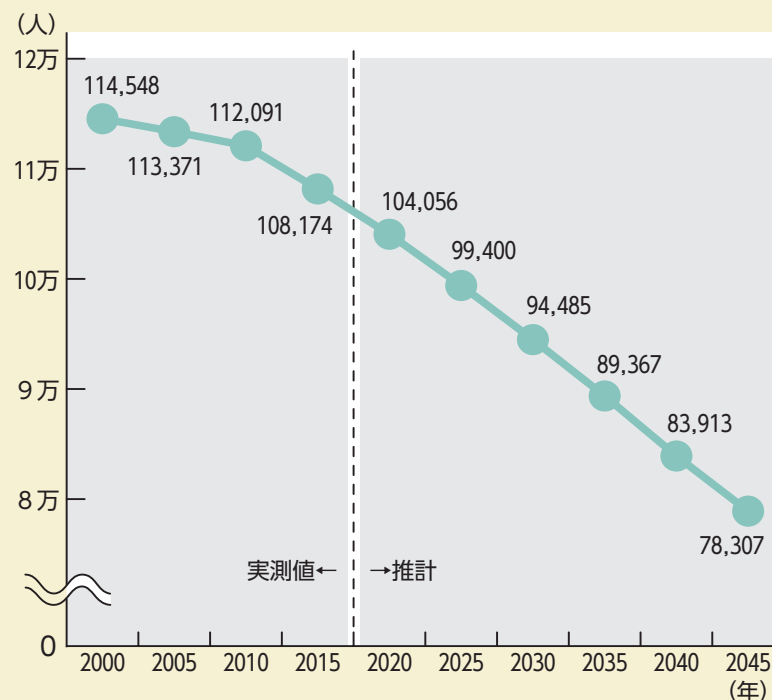
ひょうたん池（石田）で満開の桜を楽しむ親子。
この春は花見や宴会を自粛した方も多いのでは？ そこで、少しでも春を感じてもらおうと市内の桜の名所を動画にまとめました。
ぜひご覧ください。



人口はどんどん減っていく

総合計画の基となるのが西条市の人口推移。
西条市の人口はどれくらい減っていくのでしょうか。

●西条市の総人口推移



人口が減ると…

●校区別の児童数推移

■は1学年が10人未満

校区名	2020年	2045年	増減
玉津	509	486	-23
飯岡	326	206	-120
西条	413	355	-58
神拝	653	388	-265
大町	557	369	-188
神戸	188	116	-72
禎瑞	86	46	-40
橘	101	50	-51
氷見	156	60	-96
周布	159	77	-82
吉井	131	101	-30
多賀	248	137	-111
壬生川	260	155	-105

校区名	2020年	2045年	増減
国安	187	123	-64
吉岡	131	87	-44
楠河	97	47	-50
三芳	86	42	-44
庄内	84	23	-61
丹原	254	181	-73
徳田	61	28	-33
田野	77	35	-42
中川	85	25	-60
田滝	11	2	-9
小松	306	175	-131
石根	98	29	-69
計	5,264	3,343	-1,921

※算出方法の都合上、一部校区は実際の児童数と乖離があります

さまざまな課題や影響が…

人口減少は、暮らしや仕事など、私たちの身近なところで多くの問題や不安を生みます。
今、当たり前に行っていることが、これからは難しくなるかもしれません。

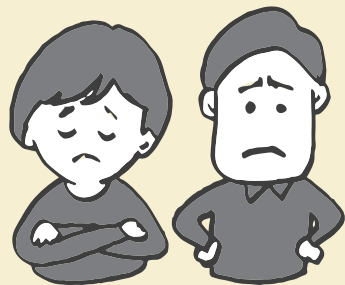
企業の雇用が減り、働く場所がなくなり、若者がまちからいなくなる。

支援センターや児童館などの今受けている子育てのサポートがなくなるか不安。

近くのスーパーが倒産し買い物に行くのもひと苦労。

空き家が増え、防犯や防災上でもとても危険。

部活動やスポーツ少年団などの教育活動がどうなっていくのかな。



イベントなど人と交流する機会が減る。担い手が高齢化して人手が不足。活動の継続が困難…。

急激に過疎化が進んだ大保木地区で活動する方に聞く 何年先でも地域があり続けるために

林業が盛んだった数十年前の住民は約3,500人。しかし産業が衰退し、今では人口160人ほどの過疎地域になりました。

地域が抱える課題は、空き家の増加や、森などの手入れ不足により土地が荒れていくこと。さらに地域の担い手が少なくなり、地域活動の継続が難しくなっています。大保木地区はこのような課題の先進地域で、

今後は山間部に限らず、まちの方でも起こりうることだと思います。

人口減少は避けられませんが、地域を維持していくために、常に新しいことを考え、自分たちができることから挑戦することが必要です。

この地域は自然をはじめ魅力がたくさんあります。活用されていない部分も多いので、そこを生かし、大保木の存続につなげていきたいです。



ゆうたろう 田村裕太郎さん

合同会社さうらいふ代表・石鎚ふれあいの里所長。昨年4月に地域おこし協力隊に就任し、大保木地区で活動中。

西条から人がいなくなる…

総合計画の予想では、当市の総人口は2015年からの30年で3万人近く減少します。65歳以上の老年人口は2025年にピークを迎え、2045年には総人口の4割超に。一方、15歳～64歳の生産年齢人口などは減少していくため、さらに少子高齢化が進行します。

校区別の児童数は、市内25の全ての小学校で減少していきます。1学年当たりの人数は、2010年の約千人から、2045年には557人と約半数に。さらに、1学年10人を下回る小学校は、田滝小学校に加え計10校になります。

人口減少の主な原因は、進学・就職のために他市や他県に転出した若者が戻ってこないことなどによる「転出者増加・転入者減少」、そして若者世代が減少することでの「出生数の減少」が挙げられます。

これからの人口は「減る」のが前提です。当市の場合、出産適齢期の女性の数が減少しているため、出生率上昇では大幅な人口増加にはつながりません。そのため、転出者の減少と転入者の増加に重点を置くことが大切です。

私たちができることは？

人口減少が進むまちのために何かを行動することは、急には難しいかもしれません。
そこで総合計画にも盛り込んだ「SDGs」の考え方を参考に、身近にできることを考えてみましょう。

SDGsは2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」。社会・経済・環境面など、17の目標を定めた2030年までに各国が取り組む国際目標です。



私はこれを実現！

まずは身近にできることを考え、書き出してみましょう。

市民の皆さんに「私はこれを実現！」を教えてくださいました



西条高校3年 篠原咲良さん

西条市のことをもっと知って、若者の意見でまちを発展させたいです！



マルノー物産(株) リゅうすけ 河村電介さん

食に関するイベントなどを通じて、文化や楽しみ方を伝えていきます。



住友生命 周桑支部 ゆかり 藤原由佳梨さん

安心して暮らせるよう、皆さんに合った保険のサービスを提供します。

みんなで実現しよう！ 三つの目標

総合計画の目標「みんなで実現しよう！ 持続可能な西条市（西条市SDGsの推進）」を達成するため、三つの目標の実現に向けて、優先的に施策を推進していきます。

3

経営感覚のある 行財政運営の実践

将来世代に過度な負担を残さず、持続可能な行政サービスを維持！

このままいくと…



市民1人当たりの借金が増える。
ごみ収集、防災・救急、教育などの分野で行政サービスが低下。

みんなで
実現しよう



子どもが元気、大人も元気。まちも自然も、産業も元気な西条！

2

働きがいの創出 経済活力の維持

人口が減少する中でも、地域経済をしっかりと維持！

このままいくと…



2045年には働く人が約1万5千人減少。担い手不足による廃業や、広大な面積の耕作放棄地が発生。

みんなで
実現しよう



多様性ある職場。事業継承など、地域の産業をみんなで担う。

1

健康寿命の延伸

高齢化が進む中、誰もが健康で豊かな生活を！

このままいくと…



介護現場の人手不足や、生活習慣病で若者も医療費が増大。2040年には要介護認定者数が1.5倍に。

みんなで
実現しよう



年を重ねても元気で自分らしく。世代を超えてまちづくりに参画。

全項目の比較は2015年の数値



第2期西条市総合計画
後期基本計画作成担当
たくや 和田卓也

総合計画を多くの方に知ってもらいたいので、「読みやすい」「分かりやすい」ダイジェスト版を作成しました。市役所をはじめ市の施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。

▶問合せ
市庁舎本館4階 政策企画課
Tel.0897-52-1527

市ホームページにも掲載▶

西条市総合計画



まずは一歩を踏み出そう

人口は減る一方で、急激に増えることはありません。でも、身近にできることを考え、行動することが、持続可能な西条市を創ることに繋がります。

「節水する」「家庭からのごみを減らす」など、ちょっとした一歩で、まちの未来は変わります。今回策定した総合計画を参考に、皆さんで協力して、次世代へバトンタッチできるまちづくりを進めましょう。

市長からの
メッセージ



西条市長 玉井敏久

将来世代へ
バトンタッチ！

持続可能なまちづくりを行うためには、市民の皆さんと西条市の未来に対する危機意識を共有し、具体的な対策に向けて協働で取り組んでいくことが大切です。

第2期西条市総合計画後期基本計画では、将来的に直面する未来予想の結果を公開することとしました。とても厳しい予想となりましたが、多くの市民の皆さんとこの危機意識を共有した上で、持続可能な西条市の実現に向けた計画を策定することができました。

今後とも市民の皆さんと足並みをそろえ、将来都市像「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現を目指していきます。計画の実現に向けて、今後とも皆さんの一層のご協力、お力添えをお願いします。